

クラブ管理運営委員会 活動計画

常任委員長 奥橋 園子

《方針》

当委員会の大きな柱である「楽しいクラブ運営」にのっとり、スムーズな例会の進行と楽しい例会や親睦行事が行えるよう企画することで、会員相互の理解と出席等の向上を図る。

《計画》

徳久会長の方針に基づき、例会親睦委員会・プログラム委員会・友好クラブ委員会の皆様と協議し、親睦の充実とコミュニケーションを計るクラブ運営を計画する。

1. 例会親睦委員会

委員長 小野田 勝宏 副委員長 若林 美佳
委員 吉田一紀 米田博一 宮崎雄一郎 黒河内彰子 柏原政人 大谷新一郎
森泉朋子 長瀬徹 桑田俊夫 中島信義 佐伯外次

《方針》

何時終息を迎えるかわからない COVID-19 において慎重に考慮しながら臨機応変に例会運営を行い会員間の親睦を深め何か一つでも心に残る親睦を企画する。

《計画》

会員の方が安心して参加して頂けるよう安全な環境を考え実行する。
また、これまでと一緒に楽しい心に残る例会運営を行う。

2. プログラム委員会

委員長 柏原 政人 副委員長 大谷新一郎

《方針》

COVID - 19 への状況を考慮した上で充実した卓話を企画運用し、魅力ある例会づくりに努める。

《計画》

- ①外部卓話と内部卓話のバランスよく計画する。
- ②卓話者の選定においては、会員からの意見も収集し幅広い分野の卓話を企画する。
- ③内部卓話に関しては、出来る限り多くの会員に発表の場を設け、親睦を深める。
- ④各委員会の活動に関する情報をクラブ内で共有しお互いの理解を深めクラブの発展に繋げる。

3. 友好クラブ委員会

委員長 一ノ瀬 裕

《方針》

会長方針に基づき、コロナ感染拡大防止に努めつつ友好クラブとの親交を深める。

《計画》

- ①金沢北 R.C. とは、双方向の交流に努め親交を保つ。
- ②鹿屋西 R.C. とは、次回当クラブに訪問予定につき、絶大なる歓迎を企画し交流を計る。

クラブ広報委員会 活動計画

常任委員長 足立 旬一

《方針》

徳久会長方針に基づき、活動指針「取り戻そう」をイメージし、公共イメージ向上に図ります。ロータリー活動を広い年齢層に向け、地域全体にアピールいたします。週報の掲載内容もより充実させます。

1. 会報委員会

委員長 栗林 一郎 副委員長 森泉 朋子

委員 足立旬一 大谷新一郎 鈴木昌彦 中村文子 若林美佳 柏原政人
江尻猛 小川仁司 吉田一紀

《方針》

- ①徳久会長の活動指針「取り戻そう」に基づき、週報とホームページを通じて、ロータリークラブの情報を基本から伝えていく。
- ②週報を通じてクラブの例会の様子や、活動内容を理解できるようにしていく。

《計画》

- ①週報とホームページを定期的に更新し、常に最新の情報を発信する。
- ②定期的にロータリー情報を掲載し、会員に伝えていく。

2. 公共イメージ委員会

委員長 長瀬 徹 副委員長 鈴木 昌彦

《方針》

- ①ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上に努める。
- ②相模原南ロータリークラブの活動を内外に発信する。

《計画》

- ①奉仕プロジェクトを始め、若い世代や他のクラブとの交流活動を発信し認知度向上を図る。
- ②「エンド・ポリオ・ナウ」キャンペーン、米山奨学生、青少年交換留学生の存在等、様々なロータリークラブの活動や内容をタウン誌、地域メディアを通じ定期的に発信していく。

会員組織委員会 活動計画

常任委員長 須坂 知恵

《方針》

- ①会員の勧誘と会員維持について計画を立て実行し、全員で会員増強に努め
- ②職業分類の未充填部門の入会候補者を発掘する。
- ③会員にロータリー情報を提供し、ロータリーの理解と関心を深めてもらう。

《計画》

- ①純増3名の増強を目指す。
- ②全会員が改めてロータリーの基本を勉強する機会を設ける。

1. 会員増強委員会

委員長 中村 好孝 副委員長 中村 文子

《方針》

- ①会長方針に基づき、ロータリー活動再生のための会員増強に取り組む。
- ②多様性を実現するため、職業分類の未充填部門の入会候補者を発掘する。

《計画》

- ①当クラブの活動方針に適した新入会者を1名でも多く勧誘する。
- ②次世代のクラブ運営を担う若い世代の入会を重点的に行う。
- ③会員の記憶に残る行事を通じ、退会者がでない環境を目指すことで会員増強を図る。

2. 会員選考・職業分類委員会

委員長 江田 昌弘 副委員長 鈴木 晴澄 委員 渋谷 勝

《方針》

会員増強委員会と連携して、会員増強委員会から推薦された候補者を速やかに選考する。

《計画》

善良さ、高潔さ、リーダーシップを備え、地域社会で良い評価がされている人材を選考する。

3. ロータリー情報委員会

委員長 杉崎 信一 副委員長 澁谷 直樹

委員 一ノ瀬 裕 黒河内三郎

《方針》

新会員に対してロータリークラブの理解が深まる機会を作る。また、会長方針にもある通り全ての会員に対して当クラブ、他クラブの活動や情報を紹介して当クラブの今後に役立てる。

《計画》

- ①情報委員会を開催する。
- ②例会内で他クラブ情報共有の時間を作る。

基金プログラム委員会 活動計画

常任委員長 青木 亜也

《方針》

- ①会員のロータリー財団・米山奨学制度の理解を深める。
- ②ロータリー財団・米山奨学制度の事業に対して寄付だけでなく事業に協力する。
- ③将来、社会で活躍し、日本と母国の架け橋となる優秀な留学生を支援する。

1. ロータリー財団委員会

委員長 山田 修 副委員長 竹村 克二
委員 鈴木 雅朗

《方針》

会員一人当たりの目標額（200ドル以上）を達成する。
奉仕活動と連動してエンドポリオ募金（一人当たり40ドル以上）を実施する。
次年度において補助金を活用した奉仕プロジェクトを実施するために補助金を申請する。

《計画》

財団月間（11月）に財団学友や地区委員の卓話を実施し、ロータリー財団への理解を深める。
補助金申請に関する説明会に参加し、補助金申請を行う。

2. 米山奨学委員会

委員長 黒河内彰子 副委員長 松井 克之

《方針》

会員一人当たりの目標額（20,000円以上）を達成する。
米山留学生との交流を図る。

《計画》

米山月間（10月）に留学生または地区委員の卓話を実施し、会員の米山奨学制度への理解を深める。

奉仕プロジェクト委員会 活動計画

常任委員長 岩本 勉

《方針》

コロナ禍における地域社会の変化と奉仕活動へのニーズについて「相模原市のSDGs 目標」や他クラブの実践事例等を調査、分析し、これから先ロータリークラブが取り組むべき奉仕活動の内容について会員全員で検討、協議、実践していく年度としたい。

1. 社会・国際奉仕委員会

委員長 松山 隆雄 副委員長 米田 博一
委員 大貫 恭嗣 中山 智晃

《方針》

日本文化に触れる奉仕活動を通じて、地域社会に貢献すると同時に会員のロータリー活動の充実を図る。

《計画》

能の歩み方を学び、身構え、心構え、呼吸を整えるワークショップを実施する。
相模原能に留学生や地域の方を招待し、日本文化を伝える。

2. 職業奉仕委員会

委員長 中村 辰雄 副委員長 栗田 直輝
委員 山崎 辰男

《方針》

熟成された社会・情報の過多には、世代を問わず、将来のライフプランに不安を持つ人びとに撫育的奉仕活動を目指します。

《計画》

21世紀の未来を担う青少年への出前授業を実施して参ります。

3. 青少年奉仕委員会

委員長 江尻 毅 副委員長 小方 實
委員 鈴木 晴澄 溝渕 真澄

《方針》

当地域の青少年の健全な成長を支える取り組みを行う。

《計画》

- ①幼児、児童のためになる活動を行う
- ②米山奨学生の受け入れ